

## 事業所でできる節電

### interview 1

- 照明を間引きする。
- 照明をこまめに消す。
- 日射を遮るために、グリーンカーテンやブラインドなどを活用する。
- 不要な場合は、看板や外部の照明を消す。
- 設定温度を 28 度に心がける。
- 冷凍・冷蔵ショーケースの吸込み口と吹出し口には商品をおかないようにする。
- 機器等の定期清掃に努める。
- 従業員等に対する節電啓発を行い、自発的な活動を推進する。
- 事業所全体の節電目標と具体的な行動について、従業員へ理解と協力を求める。など



**鹿児島部品株式会社**  
(立地企業)  
鹿屋市吾平町麓4245-2  
代表取締役 井上 浩二 氏



節電といっても、難しいことは何一つしていません。業務に支障がでない範囲で、事務所の照明を間引きしたり、工場内のスイッチを自動から手動にしたり、グリーンカーテンを設置したりするなど、家庭でも取り組めるものばかりです。

また、工場内に環境コーナーを設けたり、環境管理カードを作成し課内・個人に目標を持たせることで、従業員に対して意識啓発に努め、少しでも環境について考えるきっかけを作っています。

できることをできる範囲で、みんなで取り組んでいるからこそ、すべての従業員に節電に対する意識が浸透している実感しています。ぜひ、一人でも多くの従業員が家庭でも取り組んで欲しいですね。これからも、従業員一同で節電に取り組んで行きますが、従業員が負担と感ずることがないように頑張りたいです。



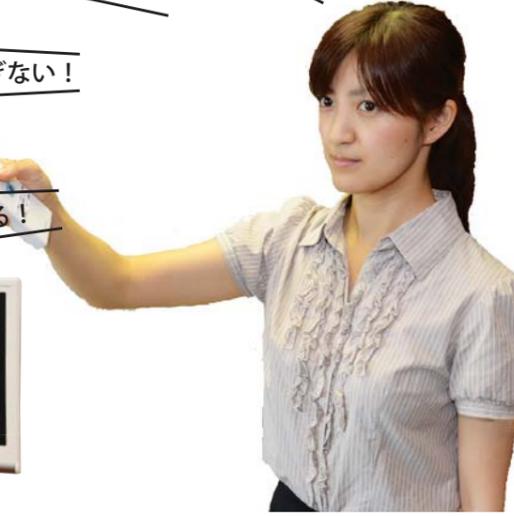
つけっぱなしにしない!



設定温度は28度に!

食品を詰め込みすぎない!

本体の主電源を切る!



少しだけでも快適な夏を過ごすために

# ストップ・ザ・地球温暖化 みんなが節電に取り組もう

現在、報道等で今年の夏の電力不足が心配されていますが、これから、ますます暑い日が続くと思われています。私たち人間は、暑いと感じれば、少しでも涼しくしようとエアコンの設定温度を下げたりするなど、便利さや手軽さからつい家電製品に頼ってしまいがちです。しかし、すだれやよしず、グリーンカーテンを設置したり、扇風機と一緒に使用するなどの工夫で、エアコンの設定温度を必要以上に下げることがなく、快適な夏を過ごすことができます。

「ちりも積もれば山となる」のことわざではありませんが、私たちが家庭や仕事先等で、節電にできる範囲で取り組むことで、全体の電力使用量を引き下げる効果が期待でき、ひいては、計画停電を行うことができます。

【問い合わせ先】  
市生活環境課  
☎0994-31-1115

「省エネラベル」を参考にしましょう!  
「省エネラベリング制度」とは、家庭で使われる製品が国の省エネルギー基準を達成しているかどうかをラベルに表示するもので、JISで規定されています。  
緑色のマークで、省エネ基準達成率の数字が大きいほど、省エネ性能が優れた製品と言えます。カタログや製品本体などに表示されていますので、選ぶ際の目安にしてください。

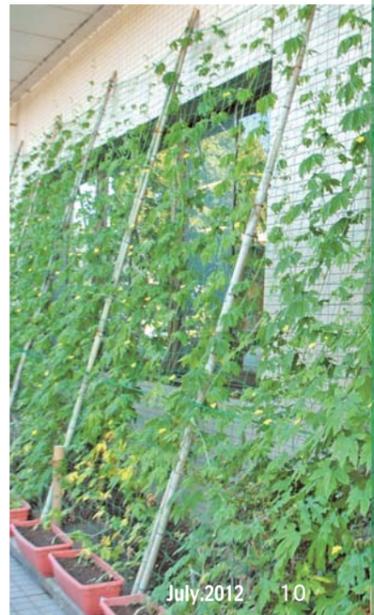
▼省エネ基準を達成しているラベル  
(省エネ基準達成率 100%以上)



▼省エネ基準を達成していないラベル  
(省エネ基準達成率 100%未満)



※「一般財団法人省エネルギーセンター」WEBサイト引用



## 家庭でできる節電

### interview 2

- 設定温度を 28 度に心がける。
- グリーンカーテンやすだれ、よしずなどを使って、日差しを和らげる。
- 冷蔵庫の扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにする。
- 日中は不要な照明を消す。
- リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。
- 洋服を洗う場合は、容量の 80% 程度を目安にまとめ洗います。
- 入浴は間隔をあけず続けて入り、シャワーは必要ときだけ使用する。
- 野菜の下ごしらえには、電子レンジを活用。
- 掃除は、部屋を片付けてから掃除機をかけ、集塵パックは適宜取り替えましょう。 など

**鹿児島県電機商業組合**  
鹿屋支部  
支部長 森 健一 氏



家庭でできる節電として、照明をこまめに消したり、待機電力を減らすために主電源を切るなどの方法がありますが、これからの時期にぴったりの節電があります。

暑いからとエアコンをつけても、部屋全体が涼しくなるには時間がかかります。こんなときは、扇風機で風の流れることで、エアコンから吹き出された冷気が部屋全体に行き届き、通常よりも早く、そして設定温度も下げることなく涼しくなります。ちょっと工夫するだけで、快適に過ごせますので、今日からでも取り組んで欲しいです。

私も節電に取り組んでいますが、家庭で節電を続けていくには、家族全員で取り組むことが大事ですね。家族との会話で、今月は先月よりも電気を多く消費したなどの話を重ねていくうちに、私の節電に対する考えも変わってきました。

やはり、家族全員の協力があるからこそ、日常生活に負担をかけない節電に取り組めるのではないのでしょうか。

節電に取り組む際は、熱中症にかからないよう気をつけましょう!